2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　グローム・ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　8938　　ＵＲＬ　https://glome-holdings.com/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）菅原　正純
問合せ先責任者　（役職名）経営企画部　部長　　（氏名）藤本　竜哉　　ＴＥＬ　03-5545-8101

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	990	△0.3	111	－	109	－	84	－
2026年３月期中間期	993	△7.5	△37	－	△358	－	△449	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　164百万円（－%）　2026年３月期中間期　△449百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	8.27	－
2026年３月期中間期	△49.72	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	8,886	8,228	90.7
2026年３月期	7,895	7,273	90.3

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　8,057百万円　2026年３月期　7,129百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	0.00			
2027年３月期（予想）			－	3.00	3.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,051	35.2	200	－	200	－	206	－	20.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	11,293,500株	2026年３月期	9,051,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	639株	2026年３月期	639株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,235,237株	2026年３月期中間期	9,050,361株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）中間連結貸借対照表 …… 3
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 7
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における当社グループの連結業績は売上高990百万円(前年同期比0.3%減収)、営業利益111百万円（前年同期は営業損失37百万円)、経常利益は109百万円（前年同期は経常損失358百万円)、親会社株主に帰属する中間純利益は84百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失449百万円)となりました。

①医療関連事業セグメント

売上高925百万円(前年同期比0.4%減収)、営業利益314百万円(前年同期比106.4%増益)となりました。

グループ全体の従業員数は、2025年9月末の95名から2026年9月末には55名へと減少したため、賞与引当金繰入額を除いた人件費は76百万円の減少となりました。医療ツーリズム事業（グローム・インターナショナル株式会社）につきましても、業務推進とコスト削減が進んだ結果、本社事務費用を除いたベースで黒字転換しました。

アライアンス先医療機関が保有する総病床数は4,189床、アライアンス先施設の内訳は無床診療所６施設、有床診療所８施設、病院（介護医療院を含む）21施設、介護老人保健施設11施設の計46施設で前連結会計年度末より減少しています。

②不動産関連事業セグメント

売上高64百万円(前年同期比0.7%増収)、営業利益22百万円（前年同期比1.7%増益)となりました。

固定資産の２件、引き続き不動産の賃貸事業を行なっています。

・北海道釧路市所在の商業施設
・北海道留萌市所在の商業施設

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比して12.6%増加し、8,886百万円となりました。主な要因は、現金及び預金499百万円、営業貸付金668百万円の減少があった一方で、機械装置及び運搬具（純額）691百万円、建設仮勘定688百万円、投資有価証券665百万円の増加があったことによります。

（負債）

負債は前連結会計年度末に比して5.8%増加し、658百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金27百万円の減少があった一方で、未払法人税等25百万円、賞与引当金16百万円、繰延税金負債28百万円の増加があったことによります。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末に比して13.1%増加し、8,228百万円となりました。主な要因は、資本金381百万円、資本剰余金381百万円、利益剰余金84百万円、有価証券評価差額金79百万円の増加があったことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日、業績予想の修正を開示しております。詳細につきましては、本日（2026年11月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,546	2,047
売掛金	157	143
営業貸付金	1,686	1,018
商品及び製品	13	16
原材料及び貯蔵品	0	0
短期貸付金	8	8
１年内回収予定の長期貸付金	928	828
その他	149	196
貸倒引当金	△252	△135
流動資産合計	5,237	4,122
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	656	626
機械装置及び運搬具（純額）	－	691
土地	693	793
リース資産（純額）	6	5
建設仮勘定	－	688
その他（純額）	12	10
有形固定資産合計	1,368	2,814
無形固定資産		
のれん	42	34
その他	1	1
無形固定資産合計	44	35
投資その他の資産		
投資有価証券	－	665
長期貸付金	1,254	1,272
繰延税金資産	8	－
敷金及び保証金	69	69
その他	393	372
貸倒引当金	△479	△464
投資その他の資産合計	1,245	1,914
固定資産合計	2,658	4,764
資産合計	7,895	8,886

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	176	149
１年内返済予定の長期借入金	9	9
未払法人税等	16	41
賞与引当金	－	16
リース債務	2	2
その他	217	217
流動負債合計	422	436
固定負債		
長期借入金	25	20
繰延税金負債	－	28
リース債務	6	4
資産除去債務	19	19
長期預り敷金保証金	146	146
退職給付に係る負債	2	3
固定負債合計	199	222
負債合計	622	658
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,049	3,431
資本剰余金	3,012	3,394
利益剰余金	1,069	1,153
自己株式	△0	△0
株主資本合計	7,129	7,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	－	79
その他の包括利益累計額合計	－	79
新株予約権	143	170
純資産合計	7,273	8,228
負債純資産合計	7,895	8,886

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	993	990
売上原価	535	451
売上総利益	458	538
販売費及び一般管理費	496	427
営業利益又は営業損失（△）	△37	111
営業外収益		
受取利息	2	4
違約金収入	－	10
その他	0	1
営業外収益合計	3	15
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	313	－
株式交付費	－	15
その他	9	2
営業外費用合計	324	17
経常利益又は経常損失（△）	△358	109
特別損失		
固定資産除却損	－	0
出資金評価損	5	－
関係会社株式売却損	83	－
その他	1	－
特別損失合計	91	0
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△449	109
法人税等	0	24
中間純利益又は中間純損失（△）	△449	84
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△449	84

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△449	84
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	79
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	－
その他の包括利益合計	△0	79
中間包括利益	△449	164
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△449	164
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2026年４月30日開催の取締役会決議に基づき、2026年５月21日を払込期日とする第三者割当増資を実施し、新たに普通株式を1,357,500株発行したため、資本金及び資本剰余金がそれぞれ230百万円増加しています。

さらに、2026年４月１日から2026年９月30日までの間において新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ151百万円増加しています。

この結果、当中間連結会計期間末において資本金が3,431百万円、資本剰余金が3,394百万円となっています。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

当中間連結会計期間において、グローム・エナジー株式会社は新たに設立したため、連結の範囲に含めています。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっています。

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当中間連結累計期間における中間連結キャッシュ・フロー計算書に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る減価償却費を含む。）及びのれん償却額は、次のとおりです。

	前中間連結累計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結累計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	38百万円	34百万円
のれん償却額	8百万円	8百万円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	929	2	931	931	－	931
その他の収益	－	62	62	62	－	62
外部顧客への売上高	929	64	993	993	－	993
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	929	64	993	993	－	993
セグメント利益又は損失（△）	152	21	174	174	△212	△37

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額△212百万円には、セグメント間取引消去11百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△223百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２　セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	中間連結損益計算書計上額（注）２
	医療関連	不動産関連	計			
売上高						
顧客との契約から生じる収益	925	2	928	928	－	928
その他の収益	－	62	62	62	－	62
外部顧客への売上高	925	64	990	990	－	990
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	925	64	990	990	－	990
セグメント利益	314	22	337	337	△225	111

（注）１　セグメント利益の調整額△225百万円には、セグメント間取引消去12百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△237百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

２　セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

２　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。